

2026 年 7 月 31 日

商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 311 号
加 入 協 会 一般社団法人資産運用業協会

『SBI-Man AI インサイト日本株式ファンド（愛称：AI 千里眼）』設定のお知らせ
～AI がオルタナティブデータ（次頁※1）を解析する日本株式クオンツアクティブ運用～

SBIアセットマネジメント株式会社（以下「SBIアセット」）は、SBIグループと英国マン・グループの業務提携による第2弾商品となる『SBI-Man AI インサイト日本株式ファンド（愛称：AI 千里眼）、以下「本ファンド」』を2026年8月28日（金）に設定し、運用を開始いたします。

ファンド名	SBI-Man AI インサイト日本株式ファンド (愛称：AI 千里眼)
投資対象資産/地域	株式/国内
信託報酬（年率・税込）	年 1.375%（税抜：年 1.25%）
投資方針	AI（人工知能）、機械学習およびオルタナティブデータを活用し、独自開発の運用モデルで国内の上場株式をスコアリングし、分散投資することで、特定の銘柄やセクターへの極端な集中を回避し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
NISA対応	「成長投資枠」対象（予定）
運用再委託先	マン Numeric (Numeric Investors LLC)
当初申込期間	2026 年 8 月 17 日（月）～ 2026 年 8 月 27 日（木）（予定）
設定・運用開始日	2026 年 8 月 28 日（金）（予定）

2023 年 7 月に SBI ホールディングスは世界有数のオルタナティブ運用会社である英国 Man Group plc（以下「マン・グループ」）との業務提携を発表しました。本ファンドは、この提携に基づいて SBI アセットが提供する第2弾商品です。第1弾商品である「SBI-Man リキッド・トレンド・ファンド」の2026年6月末における過去1年間のトータルリターンは44.99%と、ウェルスアドバイザーのヘッジファンドカテゴリーに属する53ファンドの中でトップとなり、カテゴリー平均の10.56%を34.43ポイント上回っております（次頁※2）。

本ファンドの投資対象は日本の上場株式です。AIや企業間ネットワーク分析、ビッグデータやオルタナティブデータなども活用した独自の運用モデル「コア・アルファ・モデル—5つの目“千里眼”—」により、国内上場株式約1,800銘柄をスコアリング（-3点～+3点で評価）します。スコアリング結果に基づき、約100～200銘柄に分散投資することで、特定の銘柄やセクターへの極端な集中を回避し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

運用を再委託するマン Numericは1989年の設立以来、国内外の大手年金基金・機関投資家からクオンツ（定量）運用のスペシャリストとして高い評価を得てきました。10年以上にわたりAIを運用プロセスに組み込み、現在はAIが自律的に運用モデルの開発・検証・改良までを一貫して行う独自システム「アルファ GPT」を確立しています。アルファ GPT も活用し、マン Numeric の運用モデルは日々継続的に進化しています。2026 年 2 月には、マン・グループが生成 AI の先駆企業である米 Anthropic（アンソロピック）社との戦略的業務提携を発表しました。

また、SBI ホールディングスとマン・グループが2024年5月に設立した合弁会社である SBI-Man アセットマネジメント株式会社が SBI アセットに本ファンドの運用に関する情報提供を行います。

今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供すると共に、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

（※1）オルタナティブデータ

企業の財務情報や公式統計以外から得られる未公開・非財務・非定型データのこと、通常、発表時期が早く、発表頻度が高いことから投資判断に有効と考えられています。一般的には、クレジットカード決済データ、POS 販売データ、衛星画像、SNS 投稿、求人情報、ウェブアクセス数、位置情報（人流）、開示文書のテキストデータ（NLP：自然言語処理分析）などが含まれます。

（※2）出所はウエルスアドバイザー株式会社

*****【本件に関するお問い合わせ先】*****
 SBI アセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話：03(6229)0170
 （金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 311 号、加入協会：一般社団法人資産運用業協会）

【ご参考】

■ 「SBI-Man AI インサイト日本株式ファンド」（愛称：AI 千里眼）の魅力と特長

1. AI が企業間ネットワーク分析などのオルタナティブデータを解析し、人間の感情に左右されない 5 つの計量モデルで日本株式をスコアリングします。
2. 世界の機関投資家から資金を預かるマン Numeric が 2005 年から運用を続ける旗艦ファンド「Numeric Japanese Core 戦略」を日本の個人投資家向けにカスタマイズしました。
3. 100～200 銘柄に分散し、特定の銘柄やセクターへの極端な集中を回避することで、中長期的な信託財産の成長をめざします。

■ 運用を再委託する「マン Numeric」およびマン・グループのご紹介

マン Numeric

- 米国ボストンを本拠地で、AI 等を利用した先進的な定量分析手法を駆使するクオンツマネジャー
- 1989 年の設立以来、機関投資家向けを中心にクオンツ運用専門として発展。2014 年にマン・グループの傘下に入り、現在は同グループのシステムティック（定量）部門の一員
- 総資産：821 億ドル（約 13 兆円）

マン・グループ

- ロングオンリー戦略とヘッジファンド戦略及びプライベートマーケットにおける先進的かつ革新的投資機会を提供する資産運用会社
- 1783 年創業、ロンドンに本社を置き、世界の主要都市に拠点を構える
- ロンドン市場に上場。FTSE250 指数の構成銘柄（EMGLN）
- 運用資産残高：2,276 億ドル（約 36 兆円）、従業員数約 1,700 名
- 英国オックスフォード大学とオックスフォード・マン・定量ファイナンス研究所を設立
- アンソロピックとの戦略的提携により、業務効率化、投資機会の発掘から運用パフォーマンスの向上まで最先端の AI 技術を活用

（2025 年 12 月現在、1 ドル＝156.66 円）

出所：マン・グループのデータベース

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

主な変動要因

- 株価変動リスク
- 信用リスク
- 流動性リスク

その他の留意点

- 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 有価証券の貸付取引を行う場合は、取引先リスク（取引の相手方（レンディング・エージェントを含みます。）の倒産等により契約が不履行になる等）が生じる可能性があります。
- 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じ、マザーファンドの組入れ有価証券に売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

（お買付時に直接ご負担いただく費用）

- お買付手数料 購入価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。
※詳しくは販売会社にお問い合わせください。

（途中解約時に直接ご負担いただく費用）

- 信託財産留保額 ありません

（保有期間中にファンドが負担する費用（間接的にご負担いただく費用））

- 信託報酬 年1.375%（税抜：年1.250%）
- その他の費用 信託財産にかかる監査報酬、信託事務の処理に要する諸費用、法定書類（目論見書、運用報告書等）の作成・印刷・交付にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管に要する費用等の費用は、原則として受益者の負担とし、信託財産中から支払われます。なお、これらの費用は、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。